

平成26年度 事業計画

日本アルコール産業株式会社

平成26年3月31日

平成26年度の事業運営の基本方針

- ① **アルコール事業は『安全で安心な製品』を安定して供給することを最重点目標と位置付け、品質向上と製造コスト低減を進め競争力強化を図り、販売数量の維持・拡大を目指します。**
- ② **関連事業は手指消毒剤（キビキビ）の企業向け備蓄販売と、有機入り複合肥料（たわわ・サトウキビのちから水）、土壌還元消毒用資材（エコロジール）の全国展開により拡販を目指します。**
- ③ **宮古島等バイオエタノールプロジェクトを推進し、将来の事業化検証を進めます。**

I . アルコール事業

- **アルコール事業は、安全で安心な製品の安定供給に努めます。**
 - **鹿島工場の最適運転を実現し、安定供給を確実に実施します。**
 - **アルコール製品品質の向上と品質管理を徹底します。**
 - **原料貯蔵能力を最大限活用し、原料調達の安定化を図ります。**

Ⅱ．関連事業

- **関連事業は、営業体制を効率的に見直し、アルコール製品、肥料製品、土壌還元消毒用資材製品の売り上げ拡大を目指します。また、宮古島プロジェクトを推進し、事業拡大の可能性を検証します。**
- **アルコール製品は、手指消毒剤（キビキビ）をコア製品と位置づけ、企業向け備蓄の販売を拡大します。**
- **肥料製品は、有機入り複合肥料（たわわ、サトウキビのちから水）の全国販売と海外輸出販売により、販売の拡大を目指します。**

- **土壌還元消毒用資材（エコロジアル）の全国販売を拡大します。**
- **宮古島市のバイオエタノール製造設備の指定管理者として、製造設備の維持管理と将来の事業化に向けた検証を行います。**
- **福島におけるバイオエタノールコンプレックス構想をも念頭におき、スイートソルガムに関する調査研究等を行います。**

Ⅲ. 技術力の強化

- ニーズに合わせた製品品質の解析・評価を進めます。
- 新技術への取組による製品品質の解析・評価を進め製造運転へ反映します。
- バイオエタノールの製造技術向上を図りコスト削減を目指します。

IV. 人材力の向上

- ・グループでの計画的な教育・訓練・研修を通じ、人材力の向上を図ります。
- ・技術検討会等による技術力の向上及び改革活動による積極的な社員意識の涵養を図ります。

収支計画概要

平成26年度事業計画では、安全で安心な製品の安定供給に努め、関連事業は収益の拡大を図り、目標の達成を目指します。

(単位:百万円)

売上高	21,515
営業利益	204
経常利益	209